

平成24年度

わが校のストップいじめアクションプラン

～いじめの未然防止、早期発見、早期対応～

大津市立皇子山中学校

目指す学校・生徒

いじめをしない、させない、見逃さない、許さない学校

生徒のアクション

- いじめのない明るく楽しい学級・学校づくりを進める
 - ・気持ちのいい挨拶をする。
 - ・生徒全員が協力しあえる活動を行う。
 - ・互いのよい面を見つけ、認め合う。
- 生徒会活動によるイジメをなくす取り組みを進める
 - ・皇中環境宣言の実現をめざす。
 - ・いじめを許さない自治的集団づくりとリーダーの育成をめざす。
 - ・生徒同士で悩みの相談ができるような取り組みを行う。(ONSプロジェクト)

家庭や地域と連携したアクション

- ・プランを全校保護者に配布し、PTA総会や地区別懇談会で説明する
- ・学校協力者会議でイジメの問題について協議する
- ・保護者同士や小学校との連携に努め、みんなで子どもを育てる気運を高める。
- ・地域行事を通じて、大人とのふれあいを増やし、いじめを考える機会にする。
- ・子どもの安定した生活を保障するため民生・児童委員や地域関係機関との連携を深める。
- ・開かれた学校づくりのための取り組みを進める

教職員のアクション

- ①指導体制の確立
 - ア 全教職員の協力体制の確立
 - イ 全教職員による共通理解
 - ウ 好ましい人間関係の構築
 - エ 生活実態の把握
 - オ SOSへの的確な対応
 - カ 訴えに対する真摯な対応
 - キ 客観的事実の記録・確認
- ②教育相談体制の充実
 - ア 教育相談の充実(毎学期に教育相談週間を設置し、必ず一人一回相談する)
 - イ 保護者への教育相談体制(スクールカウンセラーの活用)
 - ウ 継続的な事後指導
 - エ 専門機関との連携
 - オ 一般相談センターの広報
- ③積極的な生徒指導
 - ア いじめ等の問題行動の早期発見早期対応(月一回のアンケート調査の実施)
 - イ 機会をとらえた適切な指導
 - ウ 道徳・学級活動・総合的な学習の時間の利用(人権学習<いじめ問題>の充実)
 - エ 生徒による活動の展開(生徒会による皇中環境宣言実現等の取り組み)
 - オ 社会性の涵養
- ④家庭・地域・関係機関との連携
 - ア 地域ぐるみの対策(学校協力者会議・PTA等)
 - イ 家庭への啓発(家庭訪問・学校便り・学年通信・学級通信等)
 - ウ 解決に向けての協力一致した取り組み(関係機関との密な連携等)

現状(課題)

- ・いじめのない学校づくり(教育相談活動の充実、複数担任制など多くの目で生徒の様子を見る)
- ・命を大切にする教育(道徳や体験活動、各教科などできちんと指導、人権教育など)
- ・開かれた学校づくり(情報発信や学校開放日を増やすなど)
- ・教職員の資質向上(授業研究、情報収集、研修機会の増加、人権感覚を常に磨くなど)